

【0】 所属学校について

1. 貴校の令和7年度7月現在の教員数を記入してください。非常勤教員（専任ではない教員）・管理職は除きます。

| 教員数 | 幼稚園 | 教員数 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 中等教育 | 特別支援 | 義務教育 |
|-----|-----|-------|-----|-----|------|------|------|------|
| 2 | 2 | ~10 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 3 | 11~20 | 14 | 22 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| 4 | 9 | 21~30 | 37 | 31 | 5 | 0 | 32 | 1 |
| 5 | 16 | 31~40 | 6 | 2 | 3 | 1 | 3 | 1 |
| 6 | 6 | 41~50 | 0 | 1 | 2 | 4 | 0 | 0 |
| 7 | 9 | 51~60 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 8 | 1 | | | | | | | |
| 9以上 | 2 | | | | | | | |

幼稚園の教員数は、5名が最も多く、16園、小・中学校と高等学校、特別支援学校は21～30名が最も多く、中等教育学校は41～50名、義務教育学校は11～20名が一番多かった。

2. 1の教員数について、令和6年度末と比較した令和7年度の増減数について教えてください

| | 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 中等教育 | 特別支援 | 義務教育 |
|--------|-----|-----|-----|------|------|------|------|
| ①増えた | 3 | 6 | 5 | 0 | 0 | 3 | 1 |
| ②減った | 4 | 10 | 4 | 2 | 0 | 6 | 3 |
| ③変わらない | 40 | 41 | 48 | 9 | 5 | 26 | 5 |

【増えた理由】

昨年度は、年度初めに教員が1名欠けたため、増えた。現在は正規の人数で動いている。

令和6年度に採用できていなかった常勤講師を令和7年度には採用をしたため。

そもそも昨年度が欠員だったため

昨年度は教員が2名不足していたから。

昨年度、育休補充が入らずー1名だったため。

今年度、欠員分（1人）の職員が配属されたため

R6は1名が教職大学院1年目につき、特任教諭を1名増したため

休職者があり、その代替教員を採用したため。

R6が人事交流不調のため定員教員数を満たさなかった。よって、単なる戻りである。

管理職定年者の継続雇用に伴う処置

定数欠の補充

非常勤教員が常勤に変わったから

臨時講師が見つかった

複数回の教員採用試験での増員

定員分の教員の採用が埋まっていないため

男性育休代員

育休代教諭の配置があった。

【減った理由】

人事交流による県教委からの派遣が1名減ったため。

クラス数が減少

退職した職員が出たため、来年度補充。

一人産休に入ったため

募集をしたが、採用に見合う方がいなかった。

学級減のため

学級数が1クラス減ったため

配置不能の状態になったため

昨年度途中で、退職者が出ていたため

大学教員の校長兼務を取りやめ、副校長を未配置としたため。

サバティカル及び産育休で休職の教員がいるが補充できていないため

県との人事交流において、配置がなかったため

昨年までは小中学校それぞれに教頭がいたが、今年度より中学校にのみ教頭がおり、小学校には教頭ではなく「校務主任」がおかれたため。

昨年度、定数よりも1名増の状況で任用していたが、今年度は定数どおりの任用のため

加配枠の教員1名が確保できなかった。

学級減に伴う減員（6年間で6学級減、それに伴う6人減員）

県からの交流人事が1名欠員となったため

派遣教員の任期切れと新規派遣教員の過不足

交流人事において1名の欠員が生じたため

令和6年度産育休代替で通常より1名多く配置されていたが、令和6年度末で配置が解消されたため、今年度従来の配置数に戻った。

欠員（採用予定者が辞退）

人事異動

欠員が生じた

副校長を置かなくなったため

常勤教員の代わりが非常勤教員になったため

教員不足により、常勤講師が手配できないため

育児休業の職員の代替教員が見つからず、非常勤で対応している。

県からの配置がなかったため。

募集をかけたが、手をあげる人がいなかったため

1名、退職が決まった時期が遅く、採用が間に合わなかったから。

【考察】

多くの学校が教員数の変化はなかったが、増えた学校よりも減った学校が多い傾向にあった。

増えた理由としては、不補充であった教員の補充が最も多く、減った理由としては、学級減、交流人事の欠員が理由として多くみられた。